

伝える・深める・つながる

しろやま歴史探究ひろば

郷土の歴史研究団体が日ごろの成果を発表し、来場者と交流するイベントです。楽しみながら学べる場を通して、ご来場の方の生涯学習を応援するとともに、研究団体の新たな発展も目指します。研究者と参加者が一緒に学び合い、郷土の歴史の魅力を深く味わえるひとときをお届けします。

令和8年 2月7日 (土) 13:15～16:00 (12:30受付開始)

第一部

東條 広光 氏

[鹿児島県立図書館長]



第二部

藤崎 公晴 氏

[前田正名研究会代表]

元県歴史・美術センター
黎明館学芸専門員／現県立伊佐
農林高等学校教諭



『島津重豪に招かれた長崎唐通事の日記を読む』

安永4（1775）年、薩摩藩主・島津重豪に招かれて鹿児島を訪れた長崎唐通事・林梅卿。彼が滞在中に記した日記『公辺取合之始末書留一件』をもとに、その内容や、なぜ梅卿が薩摩に招かれたのかを考察します。

『前田正名研究会 令和6・7年度活動報告』

※ 前田正名研究会とは

鹿児島出身で、明治から大正期にかけて官僚として活躍し、民間では殖産興業を推進したことから「布衣の農相」と称された前田正名（1850～1921）を研究するサークルです。

会場

鹿児島県立図書館 1階大研修室

定員100名／参加費無料

(事前申込制・先着順)

申込はこちら

TEL 099-224-9515

FAX 099-224-5824

申込用紙に必要事項を記入の上、県立図書館カウンターに提出するか、電話又はFAXにてお申し込みください。